

# Network



株式会社アイシーエス

〒020-8544 岩手県盛岡市松尾町17番8号  
編集・発行 企画営業統括本部営業推進部  
TEL 019-651-2626(代) FAX 019-651-2693  
<http://www.ics.co.jp/>

特集

## より安心・安全な情報セキュリティをめざして!

今日の情報システムは、交通・電気・水道などと同様に社会・経済を支える必要不可欠なインフラであり、その重要性は益々大きくなってきており、ソフトウェアが創出する価値とともに、取り扱う「情報」についても重要な価値を持つようになりました。一方、悪意を持った情報システムへの攻撃・盗難行為や内部管理不備等による情報漏えいなど、情報システムを取り巻く環境も脅威やリスクが大きくなっており、情報システムにはより安心・安全な情報セキュリティ対策が求められています。



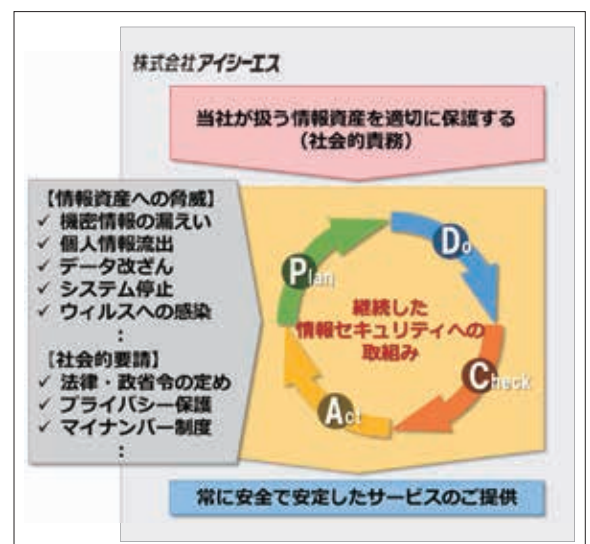
当社は、昭和41年の創業以来「お客様からお預かりした情報の安全な利用と保管」への取組を進めており、昭和58年には「情報処理サービス業情報システム安全対策実施事業所認定制度」の認定を東北地区第2号で取得し、平成13年10月に個人情報について適切な保護体制を整備している事業者等を認定するプライバシーマークを取得、平成16年4月には、情報資産を様々な脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティ・マネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC27001認証を岩手県内で初めて取得いたしました。



並行して、東日本大震災を契機として、事業継続の観点から情報システムを安定してご利用頂けるよう「ファシリティ強化」も進めており、72時間連続運転可能な非常用自家発電機や完全二重構成の無停電電源装置（UPS）に更新し、異なる変電所からの二系統受電についても信頼性の面から見直しを行いました。

「特定個人番号法」に基づく「マイナンバー制度」の運用では、より厳格な安全管理措置の実施が義務化されます。現在、組織的・人的安全管理措置をより強固なものとするため作業プロセスや規程等の再点検と見直しを行い、従業員に対する教育に力を入れております。また、物理的・技術的安全管理措置については情報セキュリティ技術部を新設し、変化する脅威やリスクに対し素早く適切な対応を図ってまいります。

当社は、「情報」及び「情報システム」の機密性・可用性・完全性を適切に維持し、合わせて情報に含まれる特定個人情報を含むプライバシー等の権利利益の保護に努める事を社会的責務であると認識し、継続したPDCAサイクルを通じて常に安全で安定したサービス提供を行いながら、お客様から信頼される企業であり続けるように努めてまいります。



## 秋田支店開設20周年



秋田支店長 伊藤誠

アイシーエス秋田支店は、平成27年8月に開設20周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。

秋田県様の大型開発案件の受注を機に開設した秋田支店ですが、おかげさまで現在では秋田県内市町村様、企業様にも当社のサービスをご利用いただいております。

また、メンバーのほとんどは秋田県出身者で、お客様にとってより身近な存在でありたいと願っております。

これからも高品質なサービスの提供を通してよりよい地域社会の創造と発展に貢献できるよう努力してまいります。今後ともより一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



秋田市山王の三交ビルに入居



歴代の支店長とともに

## 旬を味わって健康に



(戸張看護師より)

## — 里芋 —

実りの秋、収穫の秋は多くの食材が旬を迎えるうれしい季節です。食欲の秋を実感、実践している方も多いことでしょう。

芋類も秋が旬ですが、なかでも里芋のねっとりとした食感、たんぱくながらも滋味深い味わいは日本の秋の食卓には欠かせない食材です。

調理の際にてこずるぬめりには「ムチン」という食物繊維が含まれています。ムチンには胃を守る働きがあるので、胃が疲れているときや体力が落ちているときなどにお勧めです。また、ムチンには便秘を整えたりコレステロールを下げる働きもあります。調理の際にはぬめりを取りすぎないようにして、汁物や煮物など、水分と合わせた調理法で食べると良いでしょう。

里芋には「カリウム」も含まれています。カリウムには余分な塩分を体外に排出する働きがあるので、血圧を下げたり、血圧が上昇するのを抑える効果が期待できます。芋類は全般にカリウムが豊富ですが、なかでも里芋には特に多く含まれています。カリウムは水に溶けやすいので、水にさらしたり下ゆでする際には短時間にとどめましょう。皮ごとゆでるのもお勧めです。

また、里芋の皮をむくと黒っぽくなりますが、それは「クロロゲン酸」というポリフェノールの作用によります。コーヒーにも含まれるクロロゲン酸は抗酸化物質といわれ、私たちの体内で悪さをして老化やがん、動脈硬化などさまざまな病気を引き起こす活性酸素を撃退してくれます。

大地の恵みの里芋は、定番の芋煮のほかコロツケにしてもおいしいですね。ただし揚げものはカロリーが高く、胃にも負担がかかるので、ときには揚げずに焼いたり、衣の代わりに春巻きの皮や油揚げで包んで焼くのも一興です。

## ●●● おいしい里芋の選び方 ●●●

ふっくらと丸く、硬くてずっしりしているものが良品です。

泥つきで、適度に湿り気のあるものを選ぶと良いでしょう。

古くなると乾燥してひび割れるので、避けた方が無難です。

皮をむいたとき手がかゆくなるのは「シュウ酸」の仕業です。

塩や酢を手につけてから皮をむくとかゆみは軽減します



## 東北歴史紀行

## 後三年合戦(二)

## - 義家登場と三日厨 -

威張り屋の眞衡は、清原一門の長老たる吉彦秀武が、わざわざ出羽国からやって来たことも気づかずに、自分のお気に入りの奈良法師と碁に熱中していて、秀武を見向きもしなかった。

作法に従い、きちんと砂金のお盆を捧げ持っていた秀武は、しだいに苦痛を覚えると共に、昨今における眞衡の横暴振りを、あらためて思い起こしたのである。

「何んだ、これは。最近の眞衡の威張り散らす様子は、皆の噂にもなっている。今こそそれを見た。この長老たる私に対しても、何んという仕打ちだ。俺が捧げ持っているお祝い品にも、見向きもしないではないか…」

かくて秀武は怒りに狂ったように、砂金をまき散らし、持参したお祝いの酒や馳走も従者たちに分け与え、自分は大将用の鎧をつけ、郎党たちにも武装させて出羽に引き揚げてしまったのである。

秀武は「若造のくせに生意気な…」という激怒に対して、清原家の宗主で嫡宗独裁の体制に、自尊心を傷つけられた感の眞衡も、これまた憤激して、即座に兵を動員して大軍をもって出羽の秀武の攻撃を開始した。

吉彦一党だけでは、宗主眞衡と戦うことに不安であった秀武は、かねがね宗主たる兄に反感を抱いていた清衡と家衡の兄弟に加勢を依頼した。

二人の弟は、秀武の期待通りに協力することになった。そこで、兄の眞衡が出羽に征伐に出かけた留守に兵を挙げることにした。

二人は衣川に到達する手前の胆沢郡白鳥村（現前沢の地）の「在家」四〇〇余りを焼き払い凱歌をあげた。

在家とは、荘園の領主が農地を耕作する農民の家と、その農家を中心にした耕作地とのまとまりを支配単位として、設けた村落を指す。白鳥村は、衣川の北の地域なので、そこに数百戸の在家が設けられていたということは、かつての安倍氏が奥六郡の支配がかなり充実したものであり、また、それが清原氏の支配形態の中に引き継がれていたことを示す重要な事柄であろう。

出羽に出役した眞衡は、清衡・家衡が兵を挙げたことを知ると、二正面作戦になることを嫌い、急拠、引き返して、態勢を整えたうえ、再度出動しようとした。

ところが、ちょうどその時、新しく任ぜられた陸奥守源義家が下向して来たのである。戦乱はいよいよ拡大し、深刻さを増すことになったのであった。

源義家は前九年合戦の後、出羽守に任ぜられたが、これを否み、更に越中守にもなったがこれも辞退している。様々の要因はあるが、要は清原武則が鎮守府将軍に任ぜられたのが不満であったためであろう。

それから二十年後、その義家が陸奥守として登場してきたのである。正に「風雲急を告げる」事態と言えよう。

眞衡は、この義家に対し最大級の歓待の限りを尽した。それは「三日厨」という饗応である。絶大なるご馳走のほか、毎日上馬を五〇頭ずつ三日間贈り、数知れぬ黄金、鷹の羽、海豹の皮など、武将にとっては大変貴重なものを差しあげるといふ宴である。

こうして眞衡は、新陸奥守の「三日厨」を終えると、館を養子の成衡に残して、ただちに出羽の攻撃に向かった。

この様子を伺っていた清衡・家衡らは、再び眞衡攻撃を開始する。留守を守っていた眞衡の夫人が、急使を遣わして源義家の武将に協力を要請した。

これに応え「兵藤正経」、「伴助兼」の両将が力を貸すことになったが、さらに陸奥守源義家自らも介入してきたのである。

清衡・家衡は、陸奥守源義家と戦うことは不可と考え、これを避けようとしたが、清衡の親族である「重光」という人物が、

「一天の君と言えども恐れることはない。ましてや一国の刺史など何ほどのこともあるまい。すでに戦いが始まっているのだから、一同も大いに戦うべきだ」

と、盛んに主張したため、結局は交戦となり、激しい戦いとはなったが、たちまちにして二人の兄弟は義家軍の前に敗退という結果になったのである。

一だが、しかし、二十数年の苦難を経て武将となった清衡の本領は、これから発揮されるのである—

(註) 刺史とは、中国で漢・唐の時代の州の長官のこと。

右の重光の言葉は「陸奥守」や「出羽守」を中国の例のなぞらえての言と思われる。

(岩手県文化財愛護協会 顧問 金野 静一氏)



後三年合戦は岩手、秋田両県にまたがり繰り広げられることになります。



後三年合戦のなかで「納豆」が生まれたといわれています。—納豆発祥の地(横手市金沢)—

## トピックス

## ■春期情報処理試験合格者発表

今回の合格者は以下の通りです。

◇システム監査技術者	1名
◇プロジェクトマネージャ	2名
◇情報セキュリティ スペシャリスト	3名
○応用情報技術者	2名

平成27年9月1日時点の資格取得者総数は

◇システム監査技術者	13名
◇ITストラテジスト	7名
◇システムアーキテクト	24名
◇プロジェクトマネージャ	19名
◇ITサービスマネージャ	21名
◇ネットワーク スペシャリスト	30名
◇データベース スペシャリスト	29名
◇エンベデッドシステム スペシャリスト	1名
◇情報セキュリティ スペシャリスト	41名
◇応用情報技術者	165名
◇基本情報技術者	336名

(重複を含むのべ人数)  
となりました。

取得した資格により裏付けされた技術を、お客さまへのサービス提供に生かして行きたいと思っております。

## 編集後記

今年の夏は、猛暑もお盆まで、お盆過ぎからは秋のような涼しい気候となり、夏バテだった方々も体調を取り戻していることと存じます。

今年の夏の高校野球全国大会では、準優勝した宮城の仙台育英をはじめ、岩手の花巻東や秋田の秋田商など東北地区の高校が活躍しました。そろそろ真紅の大優勝旗が白河の関を超える日が近いと予感させられました。

アイシーエス「Network」、次号は年明け1月発行予定です。

## ■盛岡さんさ踊り

8月3日アイシーエスは今年も盛岡さんさ踊りパレードと輪踊りに参加しました。

この日のために練習を重ねて、太鼓、笛、踊りが一体となって熱演し、見事「優秀賞」を受賞することができました。

声援を送ってくださった皆様、ありがとうございました。

株式会社アイシーエス <http://www.ics.co.jp/>  
E-mail : [sales@ics.co.jp](mailto:sales@ics.co.jp)

本社：〒020-8544 岩手県盛岡市松尾町17番8号  
TEL：019-651-2626 FAX：019-651-2693  
一関事業所：〒021-0902 岩手県一関市萩荘字下中田9番地1  
TEL：0191-24-3888 FAX：0191-24-3750  
秋田支店：〒010-0951 秋田県秋田市山王2丁目1番54号 三交ビル  
TEL：018-865-6171 FAX：018-865-6121  
青森支店：〒030-0862 青森県青森市古川2丁目20番6号 AQUA古川2丁目ビル  
TEL：017-722-6560 FAX：017-732-3602  
仙台支店：〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町一丁目6番18号 東北王子不動産ビル4階  
TEL：022-722-7622 FAX：022-722-7644



※掲載記事等の無断転載を禁じます。